

【今回のトピック】

- 1 新年の御挨拶
- 2 防災関連の取組
- 3 中長期的な工事の取組
- 4 トリチウム検査結果
- 5 ダムの貯水位

◆-----◆
1 新年の御挨拶（福島県企業局長 市村 尊広）
-----◆

新年の御挨拶を申し上げます。

令和6年1月1日に発生しました能登半島地震において被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たち福島県企業局からも、地震に伴う人的支援として、富山県氷見市へ、災害支援のため職員を派遣しています。少しでも復興支援のお力添えが出来ればと思っています。

災害は予測することが出来ませんが、一層防災に対する意識を高め、引き続き受水企業の皆様に安全・安定・安価な工業用水道を持続的に供給できる体制作りに努めてまいります。

◆-----◆
2 防災関連の取組
-----◆

- (1) 地震等により被災した場合においても早期復旧により工業用水の供給を継続するため、施設の強靱化や事前対策を含んだ業務継続計画（BCP）を策定しております。今年度は受水企業の皆様の御協力の下、初めて伝達訓練を実施しました。情報伝達の課題解決に向けた取組みを今後も進めてまいります。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/bcp.html>

- (2) 福島県企業局は、東北地域で工業用水道事業を運営する16事業者と、地震等の災害発生時の工業用水道施設に係る相互応援協定を締結しており、職員や資材の応援を受けられる体制をとることで、早期復旧と受水企業の皆様への安定供給の確保に努めてまいります。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/sougoouennkyoutei.html>

(問い合わせ先：工業用水道課)

◆-----◆
3 中長期的な工事の取組
-----◆

福島県企業局では、老朽化が進行する施設について中長期的な視点から更新計画を作成し、安定供給に努めております。今年度の主要事業の進捗状況について「見える化」しましたので、お知らせします。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/mieruka.html>

(問い合わせ先：工業用水道課)

◆-----
4 トリチウム検査結果

-----◆
東京電力福島第一原子力発電所からのALPS処理水海洋放出の影響に関して、小名浜工業用水道の海水中トリチウムの分析結果について、直近の状況をお知らせします。

(令和5年12月16日採水分)

放射性トリチウム 検出下限値未満 (0.4Bq/L未満)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/monitoring.html>

(問い合わせ先：工業用水道課)

◆-----
5 ダムの貯水位

-----◆
工業用水道の水源となっているダムの貯水位について現在の水位をお知らせします。磐城工業用水道は高柴ダム、相馬工業用水道は真野ダムを御覧ください。

https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/dam/010401_60_1_0.html

(問い合わせ先：工業用水道課)

◎ 企業局ではみなさまからの御意見をお待ちしています。お気軽に御連絡ください。

福島県企業局

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

電話 024-521-7572 (代表)

mail kigyoun@pref.fukushima.lg.jp